

## 富山市メンタルヘルスサポート協力店事業【富山県富山市】

(実施主体) 富山県富山市

(基金事業メニュー) 強化モデル事業

(実施期間) 平成 22 年度～24 年度

(実績見込額) 平成 23 年度 281 千円

### 【事業の背景・必要性・目的】

自殺は「追い込まれた末の死」とされており、悩みを早い段階で解決に結び付けていくことが必要である。そのため、地域でのゲートキーパーを多く養成することは重要である。理容院・美容院は、多くの市民が、定期的に利用し、利用者の表情等の変化に気づく親密度や会話があり、利用することそのものにリフレッシュ感やリラクゼーション感を感じられる場であることから、メンタルヘルスサポート協力店として登録していただくことで、地域でのゲートキーパーとしての役割を担っていただき、自殺対策を推進することを目的とした。

### 【事業の内容】

#### ① 養成講習会

講習内容、参加状況については、次のとおりである。

(講習内容)

- ・ 講義「メンタルヘルスの基礎知識」 精神科医師担当 60 分
  - ・ 演習「傾聴法、リラクゼーション法」 臨床心理士担当 60 分
- 合計 120 分

(参加状況)

年度	実施回数	参加者数	登録店舗
平成 22 年度	3 回	143 人	114 店舗
平成 23 年度	4 回	114 人	92 店舗
合 計		257 人	206 店舗

#### ② 登録

メンタルヘルスサポート協力店のステッカーを配布し、店舗に貼付する。

#### ③活動の内容

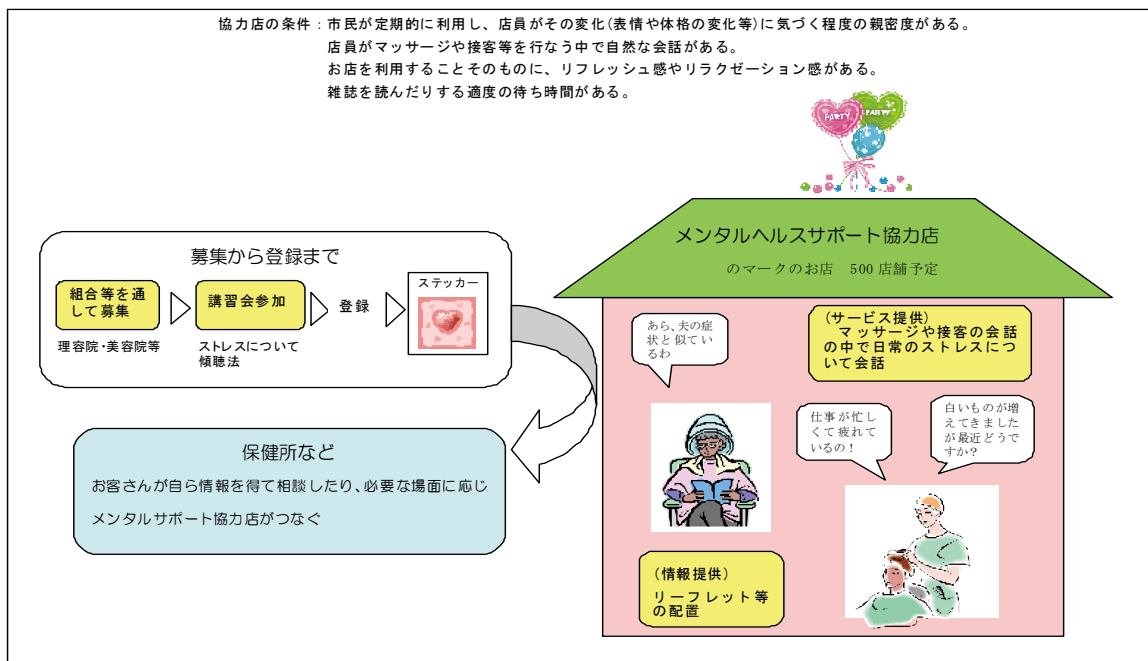
- ・ お客さんに対して髪をカットしながら、会話等を通して疲れを癒す。
- ・ 顔色が悪い方や不安、悩みがある人には、必要に応じて関係機関を紹介する。
- ・ 待ち時間に読めるメンタルヘルスについての冊子を展示し情報提供を行う。

#### ④フォローアップ研修

登録された協力店に対し、継続的にフォローアップ研修を行う。

## 国民一人ひとりの気づきと見守りを促す

### メンタルヘルスサポート協力店のイメージ



### 〔事業実施に当たっての運営体制等〕

事業の実施は、富山市が行い、受講の呼びかけについては、理容・美容組合との連携を行った。

### 〔事業の成果、工夫をした点、その他特筆すべき点〕

こころの健康に対する理解者であるゲートキーパーは、いろいろな立場や関係機関の人になっていただくことが大切であるが、今回の事業では、地域の中で誰もがなじみのある“場所”“人”に着眼することで、市民の生活により近いところで広げることができている。また、マスコミなどに取り上げられるなどの反響があり、取り組みを知ったお客さんも多くいる。参加者からは、接客の中で、心の健康に関する話題を気軽にできるようになり、接客の上での変化があったとの声が聞かれた。

内容については、講師と何度も相談し、気軽に受講できる内容、時間数を検討した。

養成にあたっては、こころの健康づくりに関して理解を得るため、平成22年は、理容・美容組合を中心に養成を行った。案内ちらしは、組合を通して配布した。

初年度は、組合に事業目的や内容を説明し理解を得て、組合より案内を回覧してもらい、心の健康に関心のある理容師、美容師の参加があったが、2年目である平成23年度は、組合からの回覧とともに保健所職員が直接、市内の理容院・美容院を訪問し、講習の案内を行った。また、理容・美容組合に加入していないお店にも講習の案内を行った。

（問合せ先）富山市福祉保健部保健所保健予防課  
TEL:076-428-1152  
E-mail:hokenjyoyobo-01@toyama.city.lg.jp